<三菱汎用シーケンサ MELSEC-A/QnA(大形)シリーズ生産中止に伴う>Q シリーズへの置換えとシステムリニューアル

実施上の注意点

1. シーケンサ更新に伴う制約事項について

シーケンサ変更にて互換性がなく検討が必要な箇所については、別途打合せさせていただきます。

- ・ グラフィックオペレーションターミナル(GOT)生産中止機種や周辺機器、付帯設備など
- ・ ネットワーク変更によるケーブル長制約やケーブル仕様変更など
- 互換性のないハードウェア、マイコンプログラムなどの置き換えができないソフトウェア
- 2. MELSEC NET 等によるネットワークシステム時の注意点

MELSEC NET 等によりネットワークシステムで稼動している時は、システム規模や生産停止可能時期等により一括更新が困難な場合があり、ネットワークの再構築を必要とする場合があります。 また、ネットワークに接続されている設備によっては、弊社担当更新設備以外の設備を改造または更新する必要があります。

3. 他社との上位通信時の注意点

更新機器によっては、上位通信プロトコルやデバイス番号が異なるため、上位側の通信プログラムの変更が必要となる場合があります。

4. A/QnA シリーズ以外からQシリーズへの切換え

長年ご愛顧いただいています MELSEC-K シリーズや他社シーケンサから Q シリーズへの切換えについても対応が可能です。

現在ご使用中のメーカー・形名等をご調査いただき、弊社までご相談ください。

5. AnS/QnAS(小形)シリーズは、生産中止対象機種ではありません。

★三菱電機システムサービス株式会社

〒154-8520 東京都世田谷区太子堂 4-1-1(キャロットタワー20階)

システムリニューアルのお問い合わせは下記へどうぞ

北日本支社	機電システム課	〒984-0042	仙台市若林区大和町 2-18-23	(022) 238-1761
北海道支店	機電営業課	〒004-0041	札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	(011) 890-7515
東京機電支社	システム部システム営業課	〒108-0022	東京都港区海岸 3-19-22	(03) 3454-1561
	機電部機電営業課			(03) 3454-5521
中部支社	機電部機電システム課	〒461-8675	名古屋市東区矢田南 5-1-14	(052) 722-7603
	機電部機電営業課			(052) 722-5589
北陸支店	機電営業課	〒920-0811	金沢市小坂町北 255	(076) 252-9519
関西機電支社	システム部機電システム課	〒531-0076	大阪市北区大淀中 1-4-13	(06) 6454-0191
	機電部機電営業課			(06) 6458-9738
中四国支社	機電システム課	〒732-0802	広島市南区大州 4-3-26	(082) 285-2112
	機電営業課			(082) 285-2111
四国支店	機電営業課	〒760-0072	高松市花園町 1-9-38	(087) 831-3186
九州支社	機電部機電営業課	〒812-0007	福岡市博多区東比恵 3-12-16	(092) 483-8208
産業システムセンター	システムエンシ゛ニアリンク゛部	〒461-8675	名古屋市東区矢田南 5-1-14	(052) 722-8711
	フィールド事業推進部			(052) 722-7658

お問い合わせは



安全に関するご注意

本カタログに記載された製品を正しくお使いいただくために ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。 <三菱汎用シーケンサ MELSEC-A/QnA(大形)シリーズ生産中止に伴う>

Qシリーズへの置換えとシステムリニューアル

リニューアルは 「三菱電機システムサービス」 におまかせください!!



Qシリーズへの切換え、システムリニューアルのお奨め

弊社にて、ハードウェア、ソフトウェアの更新から立上げまで対応!!

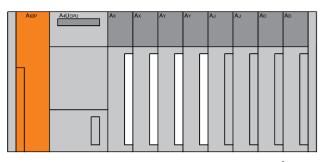
MELSEC-A シリーズおよび QnA シリーズは、1985 年発売以来、約 20 年余りご愛顧いただいております。 現在では、より高速で小形の Q シリーズが発売され、Q シリーズの導入が増えています。

三菱電機システムサービスでは、お客様の自動化/合理化/省力化/情報化などによる Q シリーズへの スムーズな移行をお手伝いいたします。

切換えのメリット

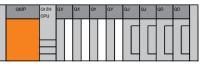
- 設備の性能 UP が可能
 - 処理能力が向上し、演算処理などのスピードアップを実現できます。
- メンテナンス性の向上
 - プログラムの読出し/書込み時間が大幅に短縮し、現場での対応がスムーズになります。 さまざまなネットワークを利用し、遠隔監視やリモートメンテナンスなどの構築が図れます。
- 情報系への対応が容易
 - 情報系ユニットの充実により、パソコンやネットワークとの親和性が高まります。

システムリニューアルの内容





ハードウェアおよび ソフトウェア置換え



弊社実施のメリット

- システム設計経験の豊富なエンジニアが、信頼性の高いシステムを構築します。
- システムに対応した変換アタッチメントなどで、交換や盤 内改造の時間を最小限に抑えます。
- 三菱電機推奨の MELSECNET 通信ケーブルは弊社で 製造、販売しているものを使用します。 (現地での端末加工や既設ケーブル使用可否判断も弊 社で対応が可能です。)
- インバータ、サーボなどの制御機器の更新にも合わせて対応が可能です。





(##75 T) | (### 0 (4)*)

<変換アタッチメント使用時のイメージ> <MELSECNET通信ケーブル> 三菱電機システムサービス製

ハードウェア変更

- 既設機種よりQシリーズ機種への変更を行ないます。※ Qシリーズへの置換えが困難な場合など、A/QnA (大形)から AnS/QnAS(小形)への置換えにも対応します。
- 既設ケーブル、端子台を使用し、シーケンサユニットへ の配線を変更します。
 - ※ ネットワークの更新時は、更新対応ケーブルでの 配線工事を行ないます。
- 制御機器等の更新についても、ご相談に応じます。
- 他ハードウェアへの置換えもご相談に応じます。

ソフトウェア変更

- 既設プログラムを Q シリーズプログラムに変換します。
- 変換が行なえない命令や、ユニットの置換によりプログラムの変更が必要な場合は、現状と同等のプログラムへ個別に対応します。
- 機能 UP、仕様変更についても、ご相談に応じます。

切換えとシステムリニューアルの作業フロー

システム検討

※ 装置の仕様、取扱を把握されている方のご協力をお願いします。



- 現状システムの調査(システム構成、図面、仕様書、プログラム等の確認)
- Q シリーズへの変換可否および代替機種の検討
- 現状復帰も含めた更新工事手順の検討
- 機能 UP、仕様変更有無の確認と対応可否検討

システム設計・製作

- 現状システムのプログラムおよびデータのバックアップ
- Q シリーズ機種選定と機材の調達
- Q シリーズへのプログラム変換
- 機能 UP、仕様変更時のプログラム作成
- 更新工事手順書の作成
- 設計内試験

現地工事・立上げ

※ 装置の仕様、取扱を把握されている方のお立会いをお願いします。

- 現状システムの更新前プログラムおよびデータのバックアップ
- 機器の交換取付・配線変更
- 現状システム機能の動作確認
- 機能 UP、仕様変更機能の動作確認
- 試運転調整

主な MELSEC-A、QnA から Q シリーズへの置換え機種

品名	MELSEC-A, QnA	MELSEC-Q	変更時の注意点
	A1NCPU(6K, 256 点)	Q02CPU(28K, 4096 点)	使用するユニットにより、
	A2N/A2A/A2UCPU(14K, 512 点)	Q02CPU(28K, 4096 点)	入出力点数や必要スロッ
	A2N/A2A/A2UCPU-S1(14K, 1024 点)	Q02CPU(28K, 4096 点)	ト数が増減する場合があ
	A3N/A3A/A3UCPU(30K×2, 2048 点)	Q06HCPU(60K, 4096 点)	ります。
CPU	A4UCPU(30K×4, 4096 点)	Q12HCPU(124K, 4096 点)	
	Q2ACPU(28K, 512 点)	Q02CPU(28K, 4096 点)	使用するユニットにより、
	Q2ACPU-S1(60K, 1024 点)	Q06HCPU(60K, 4096 点)	入出力点数や必要スロッ
	Q3ACPU(92K, 2048 点)	Q12HCPU(124K, 4096 点)	ト数が増減する場合があ
	Q4ACPU(124K, 4096 点)	Q12HCPU(124K, 4096 点)	ります。
	A32B/A35B/A38B	Q32SB/Q35B/Q38B	使用するユニットにより、
ベース	A52B/A55B/A58B	Q52B/Q55B/Q55B×2	必要スロット数が増減す
	A62B/A65B/A68B	Q63B/Q65B/Q68B	る場合があります。
電源	A61P	Q61P	電源容量が減少します。
电源	A62P	Q62P	
	AX10/AX11	QX10/QX10×2	使用するユニットにより、
入力	AX20/AX21	QX28 × 2/QX28 × 4	ユニット数の増減や配線
	AX41	QX41	接続方法が変更になる場
	_AX42	QX42	合があります。
	AY10/AY13	QY10/QY10×2	使用するユニットにより、
出力	AY23	QY22 × 2	ユニット数の増減や配線
шл	AY41	QY41P	接続方法が変更になる場
	AY42	QY42P	合があります。
	A68AD	Q68ADV または Q68ADI	使用するユニットにより、
	A62DA	Q62DAN	ユニット数の増減や配線
特殊	AJ71UC24	QJ71C24N または QJ71C24N-R2	接続方法およびプログラ
	AD61	QD62	ム等が変更になる場合が
	AD75M1	QD75M1	あります。

弊社にて対応